

国際協力機構(JICA)は、日本の政府開発援助(ODA)の中核を担う独立行政法人です。世界有数の包括的な開発援助機関として、世界のさまざまな地域で開発途上国に対する協力を行っています。2017年7月に掲げたビジョンに基づき、多様な援助手法を組み合わせ、開発途上国が抱える課題の解決を支援していきます。

ビジョン

信頼で世界をつなぐ Leading the world with trust

JICAは、人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を希求し、パートナーと手を携えて、信頼で世界をつなぎます。

ミッション

JICAは、開発協力大綱の下、人間の安全保障^{※1}と質の高い成長を実現します。



アクション

1 使命感

誇りと情熱をもって、使命を達成します。

2 現場

現場に飛び込み、人びとと共に働きます。

3 大局観

幅広い長期的な視野から戦略的に構想し行動します。

4 共創

様々な知と資源を結集します。

5 革新

革新的に考え、前例のないインパクトをもたらします。





援助対象の
開発途上国・地域^{※2}

143力国・地域

2020年度

海外拠点

96力所

2021年7月1日現在

国内拠点

14力所

2021年7月1日現在



沿革

1974年8月

国際協力事業団
JICA

2003年10月

独立行政法人国際協力機構
JICA

2008年10月

独立行政法人国際協力機構
JICA

1961年3月

海外経済協力基金
OECF

1999年10月

国際協力銀行
JBIC

海外経済協力業務

国際金融等業務

外務省

無償資金協力業務^{※3}

※1 人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方のこと。

※2 JICAの事業実績があった国からDAC諸国を除いた国・地域数。

※3 外交政策の遂行上の必要から外務省が自ら実施するものを除く。